



# 看護部通信

2018年11月



11月4日、リハセン講演会が秋田市内のホテルで開催され、“認知症への多職種からのアプローチ”をテーマに、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、精神保健福祉士が講演しました。各地でイベントが催される中、150余名の方々にご来場いただき、高齢化率全国第1位である秋田県民の認知症への関心度の高さを改めて痛感すると共に、県民に頼られるリハセンになるため、もっと努力しなければならないと感じました。(看護管理室)

## 家族の入院で考えたこと

1病棟 Y

高齢の母が入院し、検査のための転院、リハビリテーションのための転院と3つの病院への入院を経験しました。病院によってアメニティはもちろんのこと、感染予防対策や転倒防止をはじめとするリスクマネジメントへの取り組みも様々で、学ぶことが多かったです。

しかし、一番考えさせられたのは、自分と同じ立場である看護師の対応でした。安静度一つにしても、対応する人により様々で、母は「みんな違うからわからなくなる。」と話していました。正確な情報の共有は大切です。

話しかけやすい看護師、優しい言葉をかけてくれる看護師、いろいろな看護師がいます。さて、自分はどんな看護師でしょう。家族の入院を通して、看護師としての自分や職場を考えるよい機会となりました。



## ロックと暮らす日々



1病棟 M

我が家には、2歳のフラットコートレトリバーがいます。夫が大の犬好きで、自分に犬アレルギーがあるにもかかわらず飼いはじめました。さすがに屋内で飼うのは自殺行為なので、専用のハウスを建てそこで暮らしています。

名前は「ロック」と言います。最初、色が黒いからクロとつけようかと思ったのですが、子供が反対しロックにしたらと提案したため採用しました。性格は温厚で人好き、食いしん坊です。水遊びが大好きで、真夏はハウスから出すと一目散に側溝にダイブ！そのため、真夏は散歩後の水遊びが日課となりました(もちろん専用のたらいで)。最近はめっきり涼しくなり、散歩も楽になりました。しかし、もうすぐ私の嫌いな冬が来ます。吹雪や寒い中の散歩は、犬にとってはうれしいものなのでしょうが、私にとっては耐え難いものです。なんとか楽をしようと、体重30kgあるロックにそりでも引かせようか考えています。

リハセンでも犬を飼っている方がいると思いますが、冬の散歩について何か工夫したり、こんなアイデアがあるという方、ぜひ1病棟までご連絡ください。お待ちしております。